



【医学用語解説】

その名のとおり、スポーツ動作における overuse により骨のある部分に繰り返しストレスが集中すると、その部分に骨折が起こります。体の様々な骨に発生しますが、脛骨(すねの骨)、中足骨(足の甲の骨)は好発部位です。脛骨疲労骨折はランニング動作で起こる疾走型とジャンプ動作で起こる跳躍型に分けられますが、前者が圧倒的で、上 1/3 付近に発生します。跳躍型はこれよりも下方に発生し、症状からシンスプリントと鑑別を要します。第5中足骨に見られるものは別名 Jones 骨折と言われ、サッカー、バスケットボール等に多い様です。